

S/MIME 検討 WG

S/MIME 検討 WG リーダー
NTT コムウェア株式会社 磐城 洋介

■はじめに

電子署名法の施行以来、公的個人認証サービスの開始や、e文書法などPKIを利用したアプリケーションの普及が始まろうとしています。S/MIMEは、電子署名のアプリケーションとして古くから存在しますが、メールソフトの機能対応状況など一般的に利用するには様々な課題が未だ沢山あります。本WGは、これら課題の抽出のためS/MIMEを利用できる様々なメールソフト(MUA)の機能を検証し、S/MIME利用上の注意点を明確にするために活動しています。

■WG 成立経緯

S/MIME 検討 WG は、昨年度活動した「電子署名検討WG」が母体となり、電子署名の普及というテーマに関してS/MIMEに着目した活動を行うことを目的とし成立しました。電子署名検討WGでは、PKIや電子署名について様々な課題・問題があることを意識し、解決を望む多くの仲間が期待されたのですが、課題の解決に向けた具体的で効果的なテーマや成果が得られませんでした。この教訓を踏まえ、地道な所から着手するため、古くから電子署名を実装した「S/MIME」に注目し活動を開始しました。

■現在までの進捗

登録メンバは比較的多いのですが、皆多忙(特にリーダー(号泣))のため、会合は殆ど開催しておらずネット上で活動できるよう、WG専用サーバ(※1)上にコラボレーションツール(※2)を導入し、そこで活動を行っています。1/3くらいのメンバがこのサイトに情報提供を行い、掲示板などでディスカッションをしています。現在では、PKI相互運用技術WGの成果「PKI相互運用テストスイート」を用いた証明書検証の実験を行いつつあり、9種類のMUAについて実験を行っています。

■今後の予定

ターゲットMUAを増やしつつ、前項の実験テーマを来年3月まで行います。また、著名なMUAについては利用者支援のため、簡単な設定マニュアルなどの作成も検討しています。

※1

WG専用サーバは、メンバ限定のID/PWにより保護されている、WGリーダーの自宅サーバ(Linux)です(笑)。

※2

PHPで作成された「PukiWiki(<http://pukiwiki.org/>)」を用いています。

「S/MIME 検討 WG 活動支援 Web ページの一部」

